

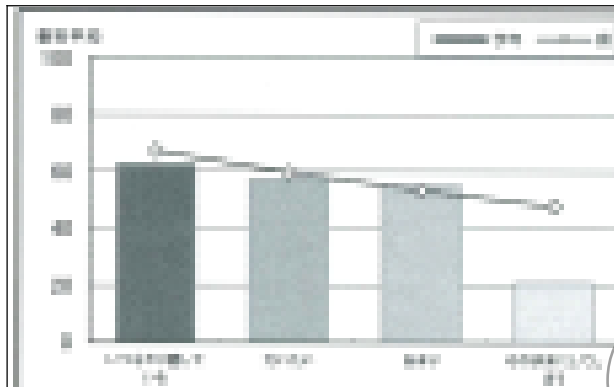
学びのススメ

県学力調査の結果から—part2—



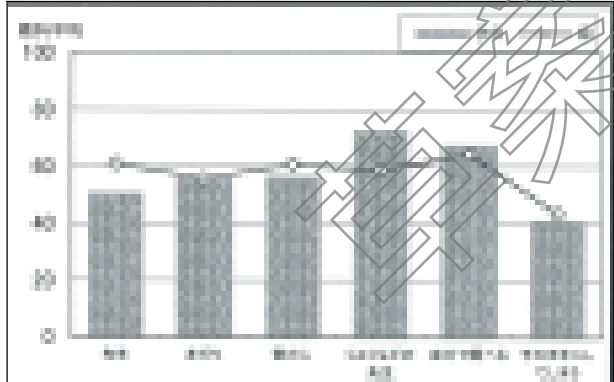
前号において、「福島県学力調査」の意識調査の結果（生活習慣）と正答率の関係について触れました。今回は、「学習習慣」と正答率の関係を分析してみます。

〔テストでまちがえた問題は、あとでやり直していますか〕



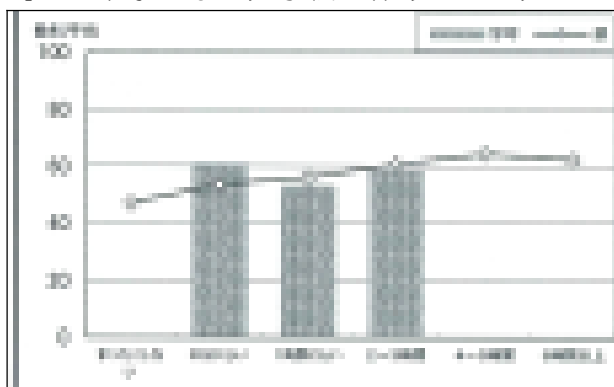
- ・「いつもやり直している」と答えた人の正答率が高いです。
- ・逆に「そのままにしてしまう」と答えた人の正答率は非常に低いです。
- ・1, 2年生はテスト勉強を進めているところですが、ワーク等を解いて、まちがえた問題を解き直す努力をしましょう。（受験勉強も同様です）

〔学校の勉強で分からないことがあったときは、だれに聞いていますか。〕



- ・分からないことを「誰かに聞く」、「自分で調べる」という努力をしている人の正答率が高いことが分かります。
- ・「自分で調べる」と解答した人の正答率が高いです。学習に対する意欲が成果としても現れているのかもしれませんが。
- ・「そのまま…」はやはりダメです。

〔土日や祭日など、学校が休みの日は、1日どれくらいの時間、勉強をしますか。〕



- ・本校と県の状況が違います。県では、4～5時間学習をしている人の正答率が一番高いです。
- ・テスト直前の今、祝日、土日とたっぷり時間を使える日があります。いくら時間があっても足りないというのが本音だと思いますので、学習にじっくりと向き合ってみましょう。

今回紹介したデータ、分析は、学年末テストを目前に控えている1, 2年生、そして高校入試を控えている3年生にとって、日頃の学習を振り返る材料になると思います。

今週末の学習が充実することを期待しています。